

2007

2006



【町民の皆様へ】コロナ禍で説明会が開けませんがご理解をお願いします

まちの持続的発展に向けて

旧3町の重複する類似施設が合併当初から指摘され、長年その解決に取り組みられてきた公共施設の統廃合。行革答申後15年が経過する今、先送りできない岐路に立っています。これまで成し遂げることができなかった喫緊の最重要課題の解決を目指します。

行革推進委員会条例を制定

平成18年6月、社会の変化に対応した簡素で効率的な町政の実現を目的とした「福智町行財政改革推進委員会条例」を町議会決議を経て制定。



行革推進委員会が答申

平成19年2月、8か月に渡る18回の会議を経て「行財政改革推進委員会」が計画大綱を答申。



公共施設の統廃合を検討

答申を受け「行財政改革推進本部」と「公共建物及び施設検討委員会」を設置して検討。



タウンミーティングで説明

平成19年5月、「タウンミーティング(まちづくり懇談会)」を開催し、公共施設の統廃合について各地区で説明。



以降のタウンミーティングでも公共施設の統廃合について説明を継続。

第一次総合計画で主要施策化

平成19年9月、「第一次福智町総合計画」で公共施設の統廃合や行政のスリム化等を主要施策として位置づけ。「第二次福智町総合計画」でも内容を継承。



町

民の皆様におかれましては、平素より町政運営にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。また、引き続き感染症拡大防止にご協力を賜り心より感謝申し上げますとともに、感染リスクに直面しながら日々奮闘されている現場の皆様へ深く敬意を表します。

さて、福智町は3月6日で合併後17年目を迎えます。これまで先人たちの確固たる意志のもと、福智町は前進を遂げて参りました。しかしながら、少子高齢化や人口減少、公共施設の老朽化が加速する中、今後、福智町の持続的な発展をいかに果たしていくか、今まさに正念場と言わざるを得ません。今こそ、まちづくりを抜本的に支える構造改革を果たさなければならぬ岐路に立っていると、深く認識しています。

福智町発足当初の年には、今後の町の在り方について、有識者や町民の皆様を中心とした福智町行財政改革推進委員会による「福智町行財政計画大綱」が策定され、答申がなされました。その内容は、この町の将来と展望を見据えた、合併に伴う様々な課題の指摘を受けたものとなっております。その答申を受け、議員数は46人から18人に、また職員数は362人から230人へと縮減してきました。

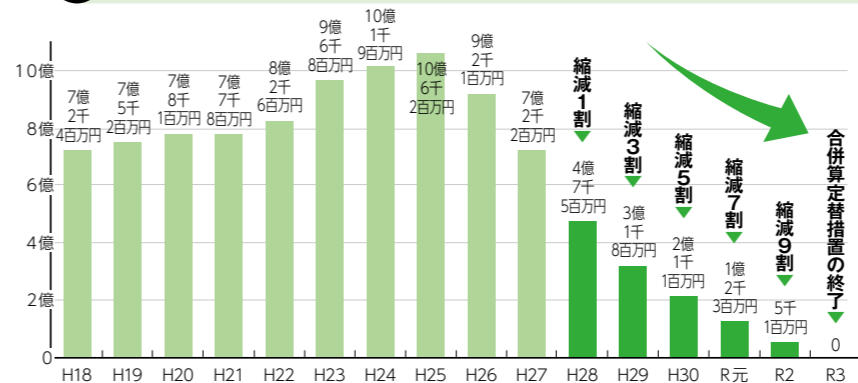
一方、公共施設については「20万人規模の自治体に匹敵する公共施設を抱えており、能率的・効果的活用の促進や整理統廃合を大胆に行い、支出されている費用が活かされるような対応策を急ぐべきである」と答申で指摘されておりました。これを受け、タウンミーティングを実施し、町民の皆様へ直接、公共施設の統廃合についても説明がなされていますが、実施までには至りませんでした。

そのような中、医療費等の社会福祉費の自然増をはじめ、多種多様な課題が年々増加しており、これらに対し、現体制で対応していくには、もはや限界を向かえつつあります。このため、住民サービスの体制確保及び維持向上に向け、令和3年度末で支所を廃止し、本庁舎を増築して職員を集約する方針を、私が就任した3年前に決定したところであります。その財源に令和7年度までと期限が迫る合併特例債を主に活用すること、町負担の最小化を図ります。教育施設につきましても本年度、有識者や町民の皆様へ検討いただき、老朽化が進む赤池中央公民館及び方城分館を整理統合する方針といたしました。その財源に期限延長を迎えた過疎対策事業債等を活用し、町負担の最小化を図ります。

本来であれば、このような重大事項につきましても、町民の皆様へ直接ご説明を申し上げるべき所ではありますが、昨年から続くコロナ禍において、現在でもオミクロン株の感染拡大が続き、県内のまん延防止措置が延長される中、説明会の開催は断念せざるを得ない状況となっております。町民の皆様におかれましては、まちの将来のため、避けることができない喫緊の課題である公共施設の統廃合につきましても、また、それらを実施するための財源確保やカバーすべき行政サービスの取り組みの状況につきましてもぜひ共有いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

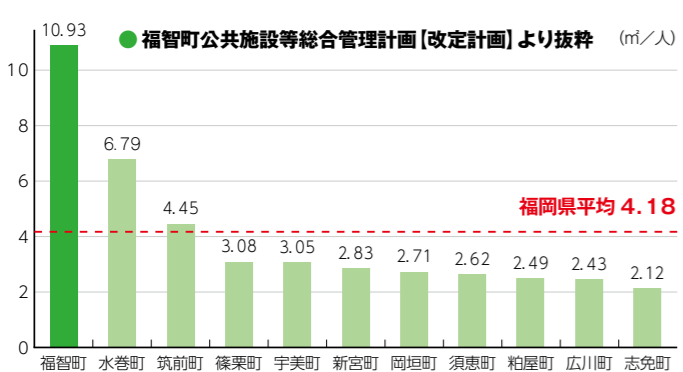
福智町長 黒土孝司

国からの普通交付税の合併算定替効果の推移



旧3町が合併した福智町は、普通交付税の算定時に通常の算定額と合併前の市町村で算定した合計額との差額分を上乘せして分配する合併算定替効果として、現在まで合計97億円もの恩恵を受けてきました。しかし、合併特例措置は15年で終了したため、合併して16年目を迎えた昨年度から以前まで多く分配されてきた財源が確保できていない状況となっています。

福智町が保有する公共施設の概要と類似する市町村との比較



福智町は現在、延床面積の合計が29万3825㎡の329の公共施設を保有しており、これらを類型別に比較すると、公営住宅41.7%、学校教育系施設20.2%、町民文化系施設11.2%、スポーツ・レクリエーション系施設6.5%の順に多く保有しています。また、町民一人当たりの公共施設延床面積は、総務省の「令和元年度公共施設状況調査」によると、福智町は10.93㎡で福岡県平均4.18㎡の倍以上になっており、類似する自治体と比べても突出して高い状況であることがわかります。要因としては、合併に伴い同じ機能をもつ公共施設が重複したことや、施設の規模・配置が人口の変化に即していないことなどが考えられます。